



# 西川小学校だより

第2号  
R7.6.1  
校長 林 敏幸

## 行くぞ！ここがスタートライン ～みんながみんなの応援団～



5月24日(土)に西川小学校大運動会が行われました。今年のスローガンは「行くぞ！ここがスタートライン～みんながみんなの応援団～」。昨年度から、子どもたちが自ら創る運動会の実現に向け、高学年を中心に話し合いを重ねてきました。結果は、赤組が優勝、白組が準優勝となりましたが、お互いの健闘を讃え合う、思いやりがあふれる感動的な運動会となりました。

当日は、ご来賓の方やおうちの方にたくさん応援していただきありがとうございました。また、役員の方々には朝早くからの準備、運営、後片付けをお手伝いいただき感謝申し上げます。

運動会の記事は、2面に続きます。



# 子どもが自ら創る運動会への挑戦！

今年の運動会は、例年どおりの競技を行うのではなく、「自分たちがやってみたいこと」を自分たちの手で創り出すことにチャレンジしました。

スローガンについて話し合った代表委員会では、「結果までの過程を大切にしたい」「運動会への取り組みをスタートにもっといい西川小にしたい」といった意見が出され、今回のスローガンが誕生しました。



代表委員会での話し合い

## 競技種目の話し合い



競技種目についても話し合い、練習を通してルールや約束事を自分たちで確認してきました。また、赤白の組分けについては、走力ではなく「なかよし班(縦割り班)」を母体に行いました。

運動会当日は、優勝をめざして力強く競技に取り組む姿に加え、例年以上に勝敗を超えてお互いを讃え合う子どもたちの姿がありました。きっと、勝敗を競う楽しさに加え、競技を考案する楽しさや大変さ、みんなで試行錯誤しながら創り上げた充実感を味わったからこそ、お互いを讃え合うことができたのでしょう。



勝利を喜ぶ赤組と笑顔で相手を讃える白組

また、なかよし班を母体に組分けしたことで、運動会当日はもちろん、練習のときから上級生が自分の班をまとめていこうとする姿が随所に見られました。

子どもが自ら動き出すための環境を創ることで、子どもは想像以上の力を発揮します。運動会への取り組みを通じて、子どもたちは、今年度の西川小のスローガン「わくわくチャレンジ」に向けて大きな一歩を踏み出しました。



# 学校生活の様子 ～仲良しがたくさんできました～

## 大盛り上がりの1年生を迎える会（4月30日）



1年生も上級生も待ちに待った「1年生を迎える会」。お兄さん、お姉さんと手をつないだ1年生が入場すると、あっという間に温かな雰囲気になりました。「なかよし班」ごとに自己紹介が始まると、恥ずかしそうな表情を浮かべる1年生も……。しかし、この後の「オレンジゲーム」で一気に笑顔に変わり、笑い声が響き渡りました。さらに「福笑い」を始めると、完成した変顔を見てまたまた大笑い。わずかな時間で、なかよし班の友達とも距離がぐんと縮まりました。これからは、なかよし班で清掃したり、給食を食べたりします。1年間かけて、どんな縦のつながりが築かれていくか楽しみです。

## 今年度初めての「おはなし会」（5月14日）

子どもたちがいつも楽しみにしている「おはなし会」がありました。今年度も、「どんびんさんすけの会」「昔語りの会」「ともだちや」の皆さんが、楽しいお話を紹介してくださいます。

初めての「おはなし会」は、絵本の読み聞かせに加えて紙芝居や童謡などもあり、子どもたちは興味津々で見入っていました。

読み聞かせといっても、何におもしろさを感じるかは一人一人異なります。お話の内容に面白さを感じる子もいれば、語り手の口調や表情に楽しさを感じる子もいます。このような機会を今後も重ねていく中で、今以上に読書が好きになり、豊かな感性の育ちにつながってほしいと願っています。



## 地域と連携した居場所づくり

## =学校運営協議会=

図書館2階に「コミュニティルーム」があります。地域の方との交流の場として、また子どもの居場所の一つとして設置された部屋です。

4月の学校運営協議会で、「地域と連携した居場所づくり」をテーマに、コミュニティルームの活用について話し合いました。その中で、子ども向けのカルチャー教室のようなものを開催してみようということになり、それを受けて実現したのが、陶芸家 土田健さんの「箸置きづくり」の見学です。土田さんが作業場をコミュニティルームに移し、実際に粘土を使って箸置きを作ります。



休み時間には、興味のある子どもたちがやってきました。土田さんが、「これはお客さんに頼まれた大事な仕事だから静かに見学をしてね」と話すと、子どもたちは土田さんの手の動きをじっと見つめ、静かに作業の様子を見守ります。その後の特別体験では、子どもたちも箸置きづくりにチャレンジしました。完成すると満面の笑顔が広がりました。

今後もコミュニティルームを活用して、地域の方との交流を広げていきたいと思っています。

## 体ストレッチワンポイントアドバイス①

皆さんの未来の健康は、「今」の積み重ねで大きく変わります。自分の体は自分でととのえ、様々なことにチャレンジできる健康でたくましい体をつくっていきましょう！

### ★背骨の動きを鍛えましょう！（片側 5～10 回）

令和6年度 西川小学校だより 第18号の動きと合わせた運動：①と②の動きを繰り返し行います。

①



②



背骨は真っ直ぐに保つ

①のポイント

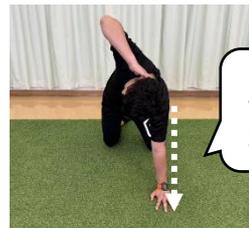
肘は真っ直ぐ  
(床を押すように)



腕を遠くに

②のポイント

肘を見るようにしながら、体を捻る



### ●注意点

- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。

山形済生病院

健康増進センターめぐみ

健康運動指導士 伊藤 貢